

一宮市のリサイクル自転車と犬山市の廃棄自転車処理の現状

廃棄自転車は、平成4年4月の総務庁交通安全対策室の調査報告書によると、70万7千台に達しており、これらの自転車の素材を資源として再利用することが求められている。前回報告した名古屋市の放置自転車対応策の現状に続いて、今回は、愛知県一宮市の廃棄自転車をリサイクルし、無料貸自転車として、市民が利用している現状と、愛知県犬山市の粗大ごみとして出された廃棄自転車処理の現状について、その概要を報告する。

1. 一宮市のリサイクル自転車

写真1は、一宮駅前の駐車場で、駐車できなかった自転車が歩道に置かれている状況である。図1は、一宮市の条例で定められ、実施している放置、廃棄自転車の処理手順書、写真2は、一宮市内に限り無料貸しする自転車案内板である。写真3は、再利用のため廃棄自転車を点検整備し、白色塗装を行い、名称“白い自転車”とした完成車である。

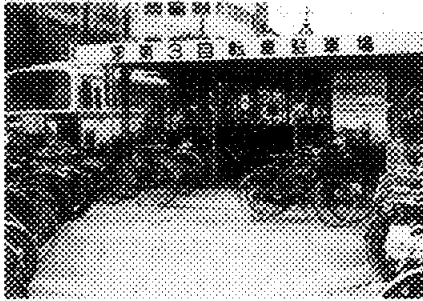


写真1 一宮駅前駐車場

表1 無料貸自転車利用状況
自転車台数28台

年度	利用者数
61	1626
62	1503
63	1273
元	1332
2	1050
3	850

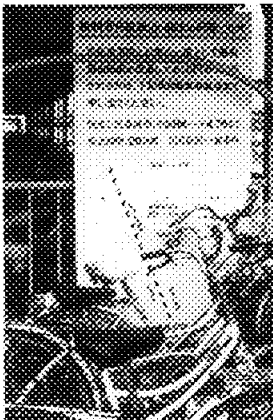


写真2 無料貸自転車案内板

無料貸自転車は、愛知県自転車モーター商協同組合が、廃棄自転車を分解点検整備し、管理運営を行っている。自転車小売店は利用された白い自転車を毎回整備するとともに毎月1回定期点検し、部品交換等を行っている。表1は、利用状況を示す。利用者は、病院の見舞い、会社の訪問、観光地への利用が多いようである。

2. 犬山市の廃棄自転車処理の現状

犬山市は、粗大ごみとして家庭から出された廃棄自転

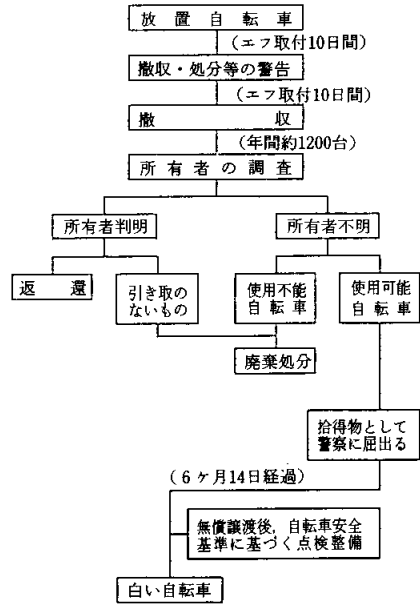


図1 一宮市長期放置自転車の整理・撤収及び処分の手順

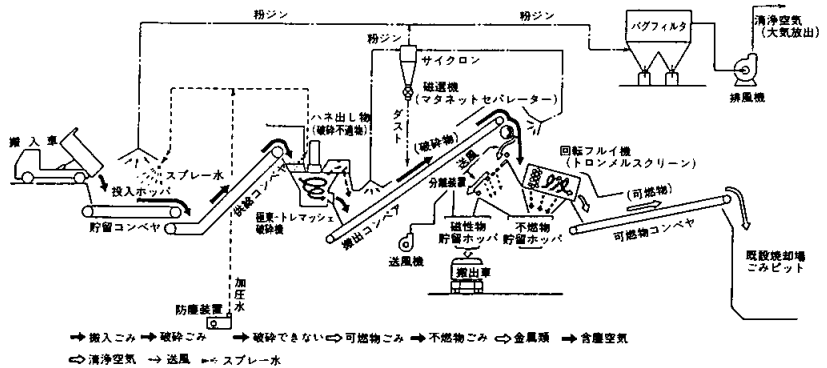


図2 犬山市の粗大ゴミ処理施設フローチャート

車、家電製品等を定期的にトラックで回収している。

図2は、粗大ごみ処理工程を示し、回収された粗大ごみは、ハンマ式破砕機で破砕した後、磁選機で金属類を回収し、不燃物と可燃物に分離している。写真4は廃棄自転車投入状況、写真5は、破砕後の金属類のみ分別されたものである。

3. まとめ

リサイクル自転車として再利用する場合は、安全のために、部品の検査及びリサイクル後の完成車の定期点検、整備が必要である。廃棄自転車の回収に当たっては、自転車所有者、地方自治体、自転車業界等の協力に対応していかなければならない。図3は、廃棄自転車の現状フローチャート例である。

なお、本調査に当たり協力いただいた地方自治体および自転車業界の方々に謝意を表します。

(リサイクル・グループ)

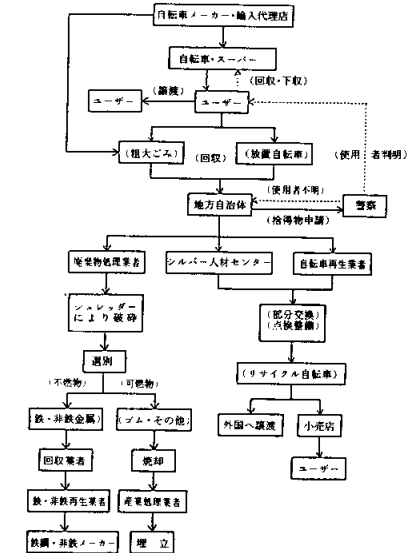


図3 廃棄自転車の現状フローチャートの一例

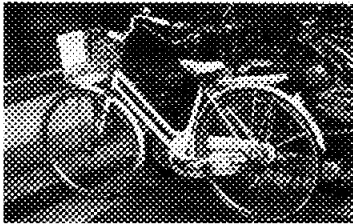


写真3 白い自転車

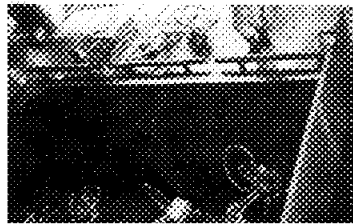


写真4 廃棄自転車投入状況

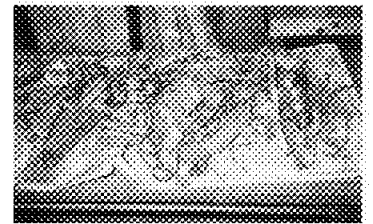


写真5 破砕後の金属材料